

-----2月2日-----

今週のアウトルック (2/2 ~ 2/6)

先週は米ドル、ユーロ、ポンドともにまちまちの状況だったと思います。

米ドル円は結果的には少しずつ円安が進む状況になりました。ただ状況としては、円安トレンドというよりは、88円から90円あたりまでのレンジ相場の継続と考えたほうが良いと思います。今週もこの動きからあまり離れないのではないかと考えています。

ユーロ円は3月の利下げが濃厚になり、弱い動きになっています。今のところ115円あたりがレジスタンスになっていて、ここを抜けてしまえば113円あたりを目指す動き、持ちこたえれば一時リバウンドという動きになりそうです。

ポンドの動きがファンダメンタルズ的には理解できないものになっています。最安値更新からのリバウンドという観点からは少し行き過ぎのように思います。先週の金曜日に反転してもおかしくなかったように思うのですが、逆に130円を超えてしまいました。このままの動きを継続してしまうと135円あたりを目指す動きになってしまうかもしれません。

ただGBPUSDが1.455付近にさしかかっています。ここが今年になってからの最高値、最安値のちょうど中間ポイントあたりになるため、超えられるかどうか大きな分岐点になりそうです。

私の予想としては、超えられずに失速してしまう可能性の方が少し高いように思いますが・・・あまり自信はありません。

今週は全体的に予測しづらい動きになりそうです。基本的にはドル円は緩やかなドル安、ユーロはリバウンドしながらのユーロ安、ポンドは方向感の定まらない乱高下を考えています。

NYダウの動きには注意をしています。オバマ期待感がしぼんでしまい、センチメントが冷え込んでしまうと、一気に株安、円高という動きも考えておく必要があるように思います。

システムトレード的アドバイス

「ポジションを持ったあと、相場を見るべきか？」

ポジションを持ってから、その後の動きを見守るべきかどうか？この問題は誰もが一度は考えたことがあるテーマだと思います。中長期のトレードであればそれほど気にならないと思いますが、スイングやデイトレードであればポジションに対して少し逆行しただけでも、気になって仕方がないと思います。

「動きを監視していれば、まずい状況になればすぐに損切りができるし、ギリギリまで利益を伸ばして利益確定もできる」

と考える方も多いと思います。

私の経験からは、残念ながら「もう少し待てば状況が好転する」と考えて損切りがなかなかできなかったり、うまいタイミングで利益確定が出来なかったりするケースの方が多いように思います。この原因は状況判断の基準が実ははっきりしてないという点と、どうしても感情に左右されてしまうという点にあるように思います・

ポジションを持つ前から、利益確定レートと損切りレートを決めておく。指値、リミット、ストップをセットでオーダーを入れる。ポジションを持った後は相場の動きを見ない。これが私の方法です。

裁量トレードであっても、感情に左右されないシステムトレードのメリットが活かせる方法のように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。